

令和6年度 全国学力・学習状況調査 ～結果の分析と今後の取り組み～

坂井市立丸岡南中学校

本年度の「全国学力調査・学習状況調査」(中学校3年生対象)では、「国語」「数学」に関する調査および学習意欲などに関する質問紙調査が実施されました。本校の分析結果をお知らせします。学校では分析結果を参考にして今後一人一人の成長を目指し、地域・家庭との連携のもと、「さらに力をつけるためにはどうしたらよいか」を考え、授業改善および学力向上に取り組めます。なお、この調査結果により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一つの側面にすぎません。そのことも踏まえて、分析結果を参考にしてください。

1. 教科に関する調査

【表の見方】丸岡南中の平均正答率(%)と全国との比較

◎: 5ポイント以上+ ○: 3ポイントから5ポイント未満の+ ◇: ±3ポイント未満
△: 3ポイント以上から5ポイント未満の- ▲: 5ポイント以上の-

国語				
(問題 URL)	https://www.nier.go.jp/24chousa/pdf/24mondai_chuu_kokugo.pdf			
領域	話す・聞く	書く	読む	言葉の特徴や使い方・言語文化
全国平均との比較	◇	◇	◇	◎
県平均との比較	◇	◇	◇	○

【良好】

○「話す・聞く」

1一
話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択することができる。

【話し合いの一部】の、「でも、他の本の情報に触れにくくなっているとは感じませんでしたか。」という発言について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 藤田さんの経験が、【フィルターバブル現象の資料】の内容に当てはまるかどうかを確認しようとしている。
2 藤田さんの経験が、【フィルターバブル現象の資料】の内容とは関係していないことを明らかにしようとしている。
3 藤田さんの経験をもとに、【フィルターバブル現象の資料】の内容に反対する意見を述べようとしている。
4 藤田さんの経験をもとに、【フィルターバブル現象の資料】の内容に誤りがあることを指摘しようとしている。
(正答) 1

○「書く」

3四
表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明することができる。

佐藤さんは【物語の下書き】の()の部分で、【ノートの一部】の4の場面の「僕」の心情を伝えて物語を終えようとしています。あなたなら、どのように工夫して書きますか。次のア、イについてそれぞれの指示にしたがって書きなさい。
ア 「あの日から数日が過ぎた。」に続けて、表現を工夫して書きなさい。
イ あなたがアで書いた表現には、どのような効果があるのかを具体的に書きなさい。

(正答例)

ア (あの日から数日が過ぎた。)窓から差し込む光を浴びながら、今日も僕はいつもの場所で君を待っている。
イ 「窓から差し込む光を浴びながら」のように情景を描写することで、「僕」の期待感が印象的に伝わる。

○「読む」

2三
本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択することができる。

次の(A)、(B)に入る言葉として最も適切なものを、あとの1から4までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

「ネギの葉」の例は、(A)を述べるために示されており、「ナンバンギセルなどの寄生植物」の例は、(B)を述べるために示されている。
1 植物の葉の二次元的な形が多様に存在すること
2 植物の葉の三次元的な形が一言に集約できること
3 植物の本質的な生き方には例外がないこと
4 植物の本質的な生き方にも例外があること
(正答) A2, B4

○「言葉の特徴や使い方・言語文化」

4三
行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択することができる。

田中さんは、短歌を紹介するための資料の中に、テーマである「月と風景」を行書で書きました。次の㉗から㉙までの部分の書き方について説明したものとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。
1 ㉗の部分は、楷書とは異なり点画を連続して書いている。
2 ㉘の部分は、楷書とは異なり点画を直線的に書いている。
3 ㉙の部分は、楷書と同様に終筆を止めて書いている。
4 ㉚の部分は、楷書と同様に点画を省略して書いている。
(正答) 1

【課題と今後の方策】

○「話す・聞く」

1四

話し合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書くことに課題がある。

【話し合いの一部】の山岡さんの発言を受けて、あなたならどのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。

条件1 フィルターバブル現象の特徴について取り上げながら、これからどのように本を選びたいかを具体的に書くこと。

条件2 【話し合いの一部】の誰の発言と結び付くのかが分かるように書くこと。

(正答例)

山岡さんの発言にあった、様々な人がおすすめの本を紹介しているウェブページを利用してみたいと思います。自分とは異なる価値観に意識して触れ、多様な意見に触れにくい状態に陥らないようにすることが大切だと思いました。

話題や発言を踏まえ、条件に合わせて自分の考えをまとめることに課題があります。話し合いの際、話題を意識したり、仲間の発言を受けて自分の考えを話したりする活動を取り入れていきます。

○「読む」

2四

本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約することに課題がある。

本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約します。次のア、イから一つ選んで（どちらを選んでもかまいません。）要約しなさい。

ア 筆者が、葉の形を表す言葉をどのようなグループに分け、各グループにどのような特徴があると述べているかについて。

イ 筆者が、数学や物理学などと生物学とでは、学問としてどのような違いがあると述べているかについて。

(正答例)

ア

葉の形を表す言葉を、二次元的な形容のグループと三次元的な形容のグループに分け、前者には多様性、後者には共通性という特徴があると述べている。

目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題があります。読み取りの際、着目する内容を決めて要約させる活動を授業に取り入れていきます。

○「言葉の特徴や使い方・言語文化」

3三

漢字を書くことに課題がある。

「みちたりた」の線部のひらがなを漢字に直し、楷書でていねいに書きなさい。

(正答)

満(ち)足(りた)

文脈に即して漢字を正しく書くことに課題があります。日ごろから定期的に漢字の小テストを行ったり、漢字が表意文字であることに触れたりしながら、漢字に関わる機会を積極的に設けていきます。

数学

(問題 URL) https://www.nier.go.jp/24chousa/pdf/24mondai_chuu_suugaku.pdf

領域	数と式	図形	関数	データの活用
全国平均との比較	◎	◇	◇	◎
県平均との比較	◇	◇	◇	◇

【良好】

○「数と式」

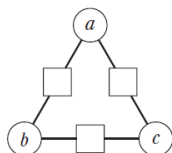
6 (2)

目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができている。

前ページの調べたことから、 $20 = 2 \times 10$ 、 $10 = 2 \times 5$ 、 $6 = 2 \times 3$ のように、「□に入る整数の和は、○に入れた整数の和の2倍になる」と予想することができます。この予想が成り立つことを説明します。下の説明を完成しなさい。

説明

○に入れた整数を a 、 b 、 c とすると、
3つの□に入る整数は、
 $a + b$ 、 $b + c$ 、 $c + a$ と表される。
それらの和は、



$$(a + b) + (b + c) + (c + a)$$

=

(正答例)

$$2(a+b+c)$$

$a+b+c$ は○に入れた整数の和だから $2(a+b+c)$ は○に入れた整数の和の2倍である。

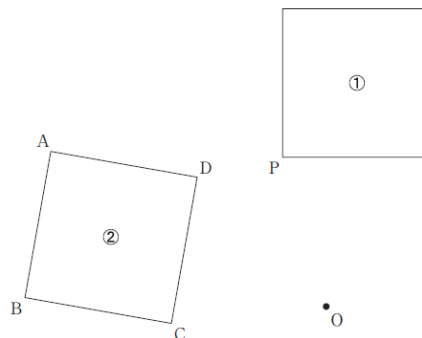
したがって、□に入る整数の和は、○に入れた整数の和の2倍である。

○「図形」

3

図形の移動の特徴を捉え、回転移動について理解している。

- 3 次の図で、正方形②は、正方形①を点Oを中心として反時計回りに 80° だけ回転移動したものです。
正方形①の頂点Pに対応する正方形②の頂点を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。



- ア 頂点A
- イ 頂点B
- ウ 頂点C
- エ 頂点D

(正答) ウ

【課題と今後の方策】

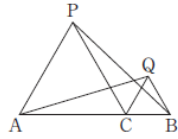
○「図形」

9 (1)

筋道を立てて、証明することに課題がある。

(1) 桃子さんは、コンピュータを使って調べたことから、点Cが線分AB上のどこにあっても、 $AQ = PB$ になると予想しました。

桃子さんの予想した $AQ = PB$ がいつでも成り立つことは、 $\triangle QAC \equiv \triangle BPC$ を示すことで証明できます。 $AQ = PB$ になることの証明を完成しなさい。



証明

$\triangle QAC$ と $\triangle BPC$ において、

合同な図形の対応する辺は等しいから、
 $AQ = PB$

(正答例)

正三角形の辺はすべて等しいから

$AC = PC$ ……①

$CQ = CB$ ……②

正三角形の1つの内角は 60° より

$\angle ACQ = 60^\circ + \angle PCQ$

$\angle PCB = 60^\circ + \angle PCQ$

よって、 $\angle ACQ = \angle PCB$ ……③

① ②、③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから

$\triangle QAC \equiv \triangle BPC$

筋道を立てて証明できるようにするために、事柄が成り立つ理由について、与えられた条件を整理し、辺や角などの関係性を見いだしながら、数学的に表現していく活動を取り入れていきます。

○「関数」

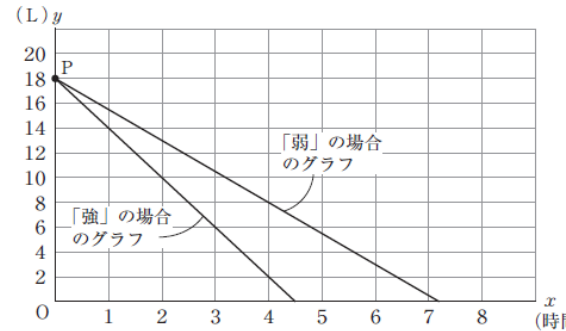
8 (2)

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

ストーブの使用時間と灯油の残量

「強」の場合の式 $y = -4x + 18$

「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$



(2) 前ページのストーブの使用時間と灯油の残量から、ストーブを使用し始めてから18 Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。また、実際に何時間かを求める必要はありません。

ア 「強」の場合の式 $y = -4x + 18$ と「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$

イ 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフ

(正答例)

アを選択して

説明 「強」の場合の式と「弱」の場合の式について、それぞれの式に $y = 0$ を代入し、 x の値の差を求める。

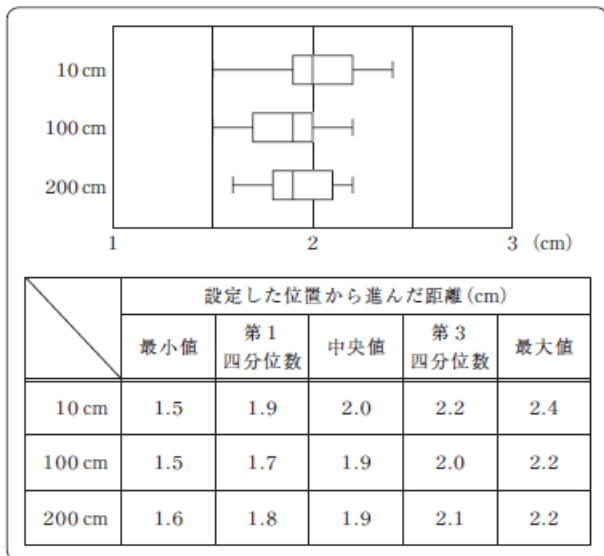
様々な問題を表、式、グラフを用いて解決できるようにするために、比例、反比例、一次関数といった様々な関数の特徴を捉えながら、それぞれを用いる方法について説明する活動を取り入れていきます。

○「データの活用」

7 (3)

複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することに課題がある。

設定した位置から進んだ距離の分布



段階1の速さで、障害物からの距離を10 cm、100 cm、200 cmと長くしていくと、四分位範囲はどうなりますか。設定した位置から進んだ距離の分布から読み取り、正しいものを下のアからオまでの中から1つ選びなさい。

- ア 四分位範囲はだんだん大きくなる。
- イ 四分位範囲はだんだん小さくなる。
- ウ 四分位範囲は大きくなって、小さくなる。
- エ 四分位範囲は小さくなって、大きくなる。
- オ 四分位範囲は変わらない。

(正答) オ

授業では身近なデータを利用して、その分布の傾向を読み取り、判断して、そのように判断した理由を四分位数など数学的な表現を用いて説明する活動を取り入れていきます。

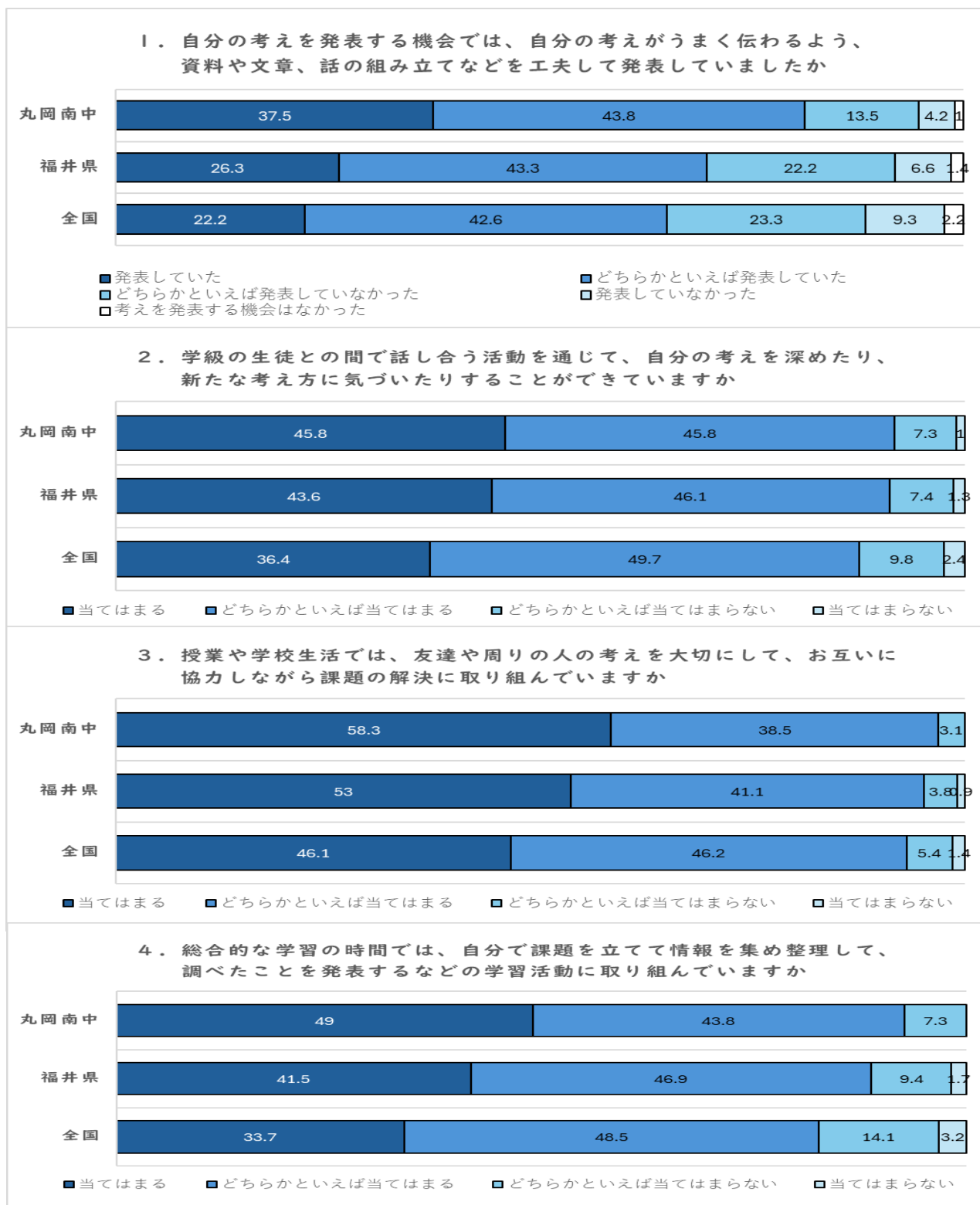
(生徒質問紙調査の結果は次ページ)

2. 生徒質問紙調査

生徒によるアンケート調査の結果から見える本校の様子について、本校のスクールプランに沿ってお知らせします。

本校の教育重点目標は、「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな体」「家庭・地域」との連携の4点で、目標を達成するために様々な具体的な取り組みを行っています。

「確かな学力」については、自分の考えを表現することや友達との学び合いができていたことがわかりました(1,2)。また、「豊かな人間性」については、総合的な学習やスクエア活動での系統だった取り組みをしていることより、友達とのかかわりを大切にしながら協働的で深い学びにつながる取り組みをしていると答えた生徒が多いことがわかりました(3,4)。



「健やかな体」については、ゲームやSNS、動画視聴をしている時間が長い生徒が多く(5,6)、スマートルールについても家の人と約束したことを守っている生徒が全国平均や福井県平均より下回っていました(7)。今一度、スマホやPCの使い方について家庭でも話し合っただけだと思いたいと思います。また、「家庭・地域との連携」については、地域行事に積極的に参加していることで地域を身近に感じており、地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う生徒が8割以上いることが分かりました(8)。

